課の使命

市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、市民の防災意識向上や町田市としての市の危機管理体制の強化に努めることです。

実	実行計画(年度目標) 年度目標設定						中間確認		年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	ラス催記 目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点事業プラン	まちだ防災カ レッジの推進	・「まちだ防災カレッジ」をより多くの市民に広く知ってもらい、市民一人ひとりの防災意識の高揚を図るため、インスタグラム等のデジタルツールを活用し、周知に努めます。 ・2022年度に開設したボータルサイトでは、「まなぶ」のコンテンツを充実させ、セミナーや講演会を通して防災に関する基礎知識等を発信します。 ・「とりくむ」では、「マンション防災」をテーマに、在宅避難や地域における自助共助体制の構築など、集合住宅の多い地区を中心に周知します。 ※市民の防災意識向上を目的とした「まちだ防災カレッジ」は、防災教育事業である「まなぶ」と地域の課題解決を目指す「とりくむ」の2つをテーマに事業を実施します。	①インスタグラムによる情報発信回数 ②「とりくむ」実施地区数	①40回 ②2地区(累計 6地区)								
2	個別計画	町田市事業継続計画の修正		町田市事業継続計画の 修正	完了								
3	個別計画	児童・生徒に 対する防災教 育の推進	・消防法に基づく避難訓練以外の防災教育を行っていない小学校・中学校・高等学校に、起廣車体験や学校の授業内での防災教育の組み込みなど、他の学校が取り組んでいる防災教育の取り組みの例を提示します。そうすることで学校に通う児童・生徒が身の周りの防災についてが能動的に考えることができる機会を創出します。 ・2024年度の各学校の防災教育の取り組み状況の担よついては、学校へのアンケート調査を行います。その結果を取りまとめたうえで学校が取り組む防災教育の例として各学校に送付し、防災教育の周知に努めます。	防災教育を実施する市 内の小学校・中学校・高 等学校の校数	7校 (累計48校)								

年度目標設定							中間確認		年度末確認				
順位		取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
4	個別計画	消防団員確保	・若手団員の確保に向け、消防団の魅力を向上させるとともに、SNS等を活用した情報発信を強化していきます。 ・東京都住宅供給公社との協定に基づく入団促進策が、若年層の入団につながるよう、積極的なPRを行っていきます。 ・消防団員の更なる負担軽減や事務の効率化を図るため、より一層デジタル化を推進します。	SNSや広報、イベント参加による情報発信回数	30⊡								
5	事務事業見直し	予算や契約の 一元管理	C. JAMEGEY .		①完了 ②検討								
6	-	シティまちだ」	・各種打合せ等は、データを事前に送付する等に より紙資料の印刷は行わないようにし、印刷が必要 な場合でも必要最小限となるように取組みます。	紙資料の印刷枚数	254,724枚 (2023年度実 績枚数)未満								

課の使命

町田市に関わる全ての人・団体・企業等とともに、防犯・交通安全の意識を高め、活動に携わり、周囲に大切さを伝える好循環を協力してつくりあげることで、 将来にわたって安全・安心な暮らしを実感できるつながりの輪を広げていきます。

実征	実行計画(年度目標) 年度目標設定						中間確認		年度末確認				
順位	計画類型	取組項目	具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に 対する 実績値	評価	評価の 視点	課題と対応
1	重点事業プラン	協働パトロールの実施	・警察や地域団体などと定期的に実施している協働パトロールに加え、親子や外国の方、学生など幅広い方々を迎え入れて実施する恊働パトロールについても拡充していきます。	①協働パトロール回数 ②協働パトロール参加人 数	①48回 ②700人								
2	重点事業プラン	交通安全ミー ティングの実 施	・市民が交通安全に関する疑問等を気軽に聞くことができるミーティングを実施し、そこで得た情報を基に市が行う啓発活動に活用していきます。	①交通安全ミーティング 実施回数 ②ミーティングで得た情報を活用した啓発活動 の実施回数	①6回 ②6回								
3	事務事業見直し	啓発チラシの 見直し	・啓発活動の際に配布しているチラシについて、紙 使用量を削減するとともに、市民に情報をより効果 的に伝えるため、業務ミーティングによりサイズや記 載内容を見直します。		①完了 ②2件								
4	事務事業見直し	防災安全部共 通の消耗品の 一元管理	・消耗品管理の効率化や予算削減を目的として、 防災課に消耗品の管理を一元化します。	一元管理する消耗品の 棚卸・リスト化	完了								